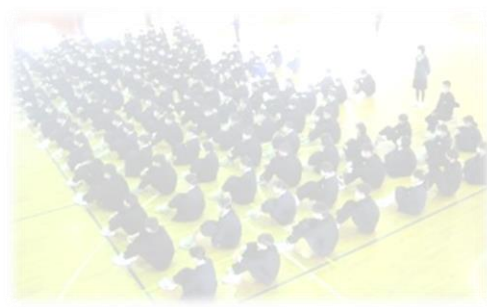


	学校だより第3号 令和4年 6月15日 上越市立城西中学校	啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。
---	-------------------------------------	---

『あたりまえ』と『ありがとう』

先日の3学年朝会での生徒の様子。
 リーダーの明確な指示、全体の動きの速さと正確さ、あいさつの声の大きさ、そして話を聞くときの姿勢とまなざし。わずかな時間ではありましたが、さすが、3年生！と城西中学校の『あたりまえ』のレベルの高さに感心した瞬間でした。



ここ数年、＜新しい生活様式＞が定着し、学校生活での『あたりまえ』が変化しています。以前は給食時に班でくっついていていた机が、今は離れています。生徒は頻繁に手を洗い、アルコール消毒をしています。感染拡大防止のため仕方のない変化です。

上の例のように『あたりまえ』は、時代や社会状況によって変化していくものだと思います。昨年度から生徒会を中心に行っている校則の見直しは、正にそれを具現化したものです。しかし、冒頭に紹介した3年生の姿は、普遍的な城西中の伝統的な姿なのだと感じています。

一方、『あたりまえ』の対義語は、『ありがとう』です。「当たり前」⇔「有り難い（ありがとう）」という解釈です。今、自分の目の前にある『あたりまえ』は、何かのきっかけで良い方向にも、悪い方向にも大きく変化するかもしれません。私が大切にしたいと思っているのは、日々の生活の中で出会う人や出来事に対して、感謝の気持ちをもつことです。『あたりまえ』を粗末にせず、『ありがとう』の気持ちを伝えていきたいと思っています。

令和4年度 第1回生徒総会

5月20日（金）令和4年度 第1回生徒総会が行われました。今年もビデオ会議アプリ「Google Meet」での、リモート会議形式による生徒総会となりました。今年度の生徒会活動の基本方針について確認した後、各委員会・部活動等の活動について話がありました。生徒はそれぞれの教室で執行部員・委員長や部長会長からの提案を聞く様子に、城西中学校をさらにより良いものにしていこうとする姿勢が感じられました。



1・2年生 仲間づくり遠足

3年生 修学旅行1



5月12日(木) 1年生は金谷山へ、26日(木)には2年生が妙高青少年自然の家、3年生は戸隠へ行ってきました。1年生は中学校へ入学して初めて校外に出かける行事でした。また、3年生にとっては延期になっていた修学旅行の1回目の実施でした。新しい学級・班のメンバーとの校外での活動を通して、協力することの楽しさを実感し、たいへん充実した時間を過ごすことができました。なお、3年生の修学旅行の2回目は秋に金沢方面に行く予定です。

1年生 金谷山



2年生 妙高青少年自然の家



3年生 戸隠



○栄光の記録○



【ソフトボール部】	第35回上越タイムス杯ソフトボール大会	5月14日	準優勝
【女子バスケットボール部】	ゼロカップトーナメント	5月21日	第3位
	ひすいカップ 2022	5月22日	優勝
【男子バスケットボール部】	ひすいカップ 2022	5月22日	第3位



7月の予定



1日(金) 通信陸上大会 (～2日)	25日(月) 保護者面談 PM (～28日)
2日(土) 漢字検定①	29日(金) 1学期終業式
16日(土) 県総合体育大会 (～18日)	30日(土) 県吹奏楽コンクール上越会場 (～31日)